

みずほCustomer Desk Report 2020/10/21号(As of 2020/10/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	105.59 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.45	1.1768	124.13	1.2949	0.7053
SYD-NY High	105.75	1.1841	125.00	1.2979	0.7072
SYD-NY Low	105.30	1.1760	124.12	1.2911	0.7021
NY 5:00 PM	105.52	1.1821	124.73	1.2947	0.7048
NY DOW	28,308.79	113.37	日本2年債	-0.150	▲1.00bp
NASDAQ	11,516.49	37.61	日本10年債	0.020	0.00bp
S&P	3,443.12	16.20	米国2年債	0.146	0.01bp
日経平均	23,567.04	▲104.09	米国5年債	0.335	0.00bp
TOPIX	1,625.74	▲12.24	米国10年債	0.785	1.34bp
シカゴ日経先物	23,610.00	90.00	独10年債	-0.6040	2.50bp
ロンドンFT	5,889.22	4.57	英10年債	0.1855	1.70bp
DAX	12,736.95	▲117.71	豪10年債	0.7560	0.10bp
ハンセン指数	24,569.54	27.28	USDJPY 1M Vol	7.21	0.01%
上海総合	3,328.10	15.44	USDJPY 3M Vol	6.85	0.05%
NY金	1,915.40	3.70	USDJPY 6M Vol	7.03	0.03%
WTI	40.91	▲0.15	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	152.327	0.71	EURJPY 3M Vol	7.42	0.15%
ドルインデックス	93.07	▲0.36	EURJPY 6M Vol	7.63	0.05%

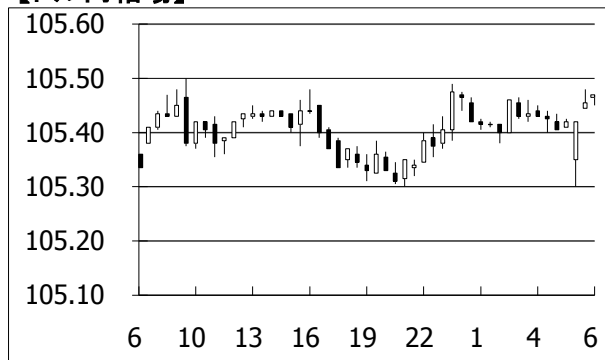
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月20日	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	9月 0.4%/-1%	-0.1%/-1.4%
	21:30	米 住宅着工件数	9月 1415k	1465k

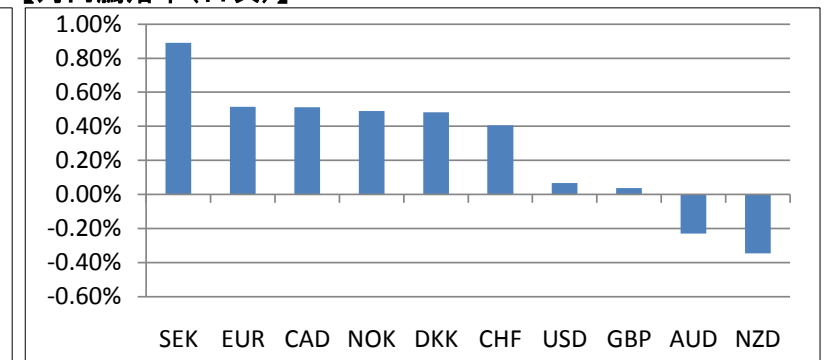
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月21日	15:00	英 CPI(前月比)	9月 0.5%	-0.4%
	15:00	英 CPI(前年比)	9月 0.6%	0.2%
10月22日	01:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 クオールズFRB副議長 講演	-	-
	03:00	米 ページブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.10-105.90	1.1700-1.1800	123.00-124.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、105円半ばでのレンジ推移。東京時間で小動きが続いたドル円は、海外時間に入り経済対策の再協議が意識される中、じりじりと上昇。105.75をタッチするも買いは続かず。米株式市場が反発する一方、ドル売り地合いとなりドル円は105円半ばでのレンジ推移継続となった。本日のドル円は引き続き105円台での推移を予想。テーマは引き続き11月3日の大統領選挙であり、それまでは動きにくい状況だ。また、おそらく大統領選挙前の最後のタイミングで行われている経済対策の行方にも留意したい。

東京	東京時間のドル円は105.45レベルでオープン。仲値にかけて105.61レベルまで上昇するも、日経平均の軟調な推移を横目に小幅に下落。もともと、米国の追加財政刺激策の行方に対する不透明感や討論会を控えた様子見色の強まりもあり、その後は方向感に乏しい展開に。結局105.52レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.52レベルでオープン。特段の目新しい材料はなかったが、本日と言われる米経済支援パッケージ議論への期待感から米株先物や米長期金利が堅調に推移したこともあり、円安が若干進む。一時105.69円まで上昇し105.68レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2956レベルでオープン。1.2920まで売られる立ち上がりだったが、堅調なユーロに連れて1.2979まで買い戻される。だが、英中銀プリム委員がコテ下でのさらなる緩和についてコメントすると次第に値を消し1.2937レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は五・十日で実需勢のドル買いにサポートされ、東京仲値にかけて105.61まで上昇し、その後も105.50付近で底堅く推移。早朝に欧州株の堅調推移を眺め、上昇するユーロ円につれ高となり、105.69まで上昇し、105.68レベルでNYオープン。朝方は米9月住宅着工件数が予想を下回るも市場の反応は限定的だった。指標発表直後に高値105.75をつけるも、米株の堅調推移を背景に広まるリスク選好ムードやユーロドルの大幅上昇がドル売りの支援材料となったことから、その後はじりじりと反落。15時にペロン米下院議長とムニューシン米財務長官の電話会談が予定されている中、午後はじり安推移を継続。15時過ぎても経済対策合意に関する報道が特段なかったためか、米株の上げ幅を縮小し、円買い強まったことから、安値105.42をつける。終盤にマウス米大統領首席補佐官が本日の経済対策協議で進展があったと述べるも、ドル円は特段反応せず、結局、105.52レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1770近辺での小動きでスタートするが、欧州勢参入後にユーロ買いが強まる。欧州株の堅調推移や米追加経済対策合意への期待感を背景にリスク選好ムードが広まる中、10月13日以来の1.18台回復となり、1.1806レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、上値追いの展開を継続。1.1820近辺の水準を上抜けるとストップロス巻き込みながら1.1841まで上昇し、10月の高値を更新。ユーロ買い一巡後、小幅に反落するも、1.1820近辺での底堅く推移。午後は米経済対策協議に関するヘッドラインに対して特段反応を示さず、方向感の無い推移が続き、結局、1.1821レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・小林 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル		8	13